

経営比較分析表（令和5年度決算）

香川県 香川県広域水道企業団

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A1	自治体職員
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)	
-	74.78	97.81	2,970	

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
-	-	-
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
910,802	973.79	935.32

グラフ凡例

- 当該団体値（当該値）
- 類似団体平均値（平均値）

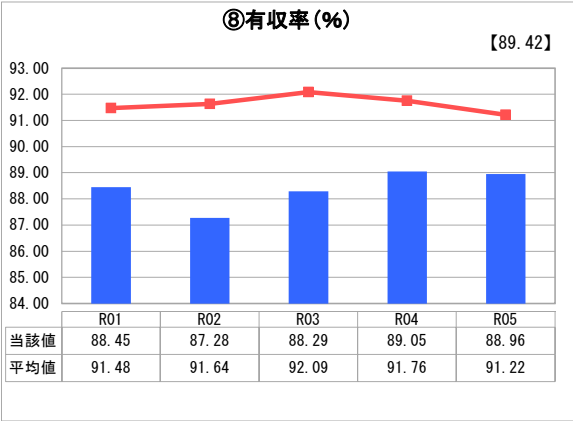
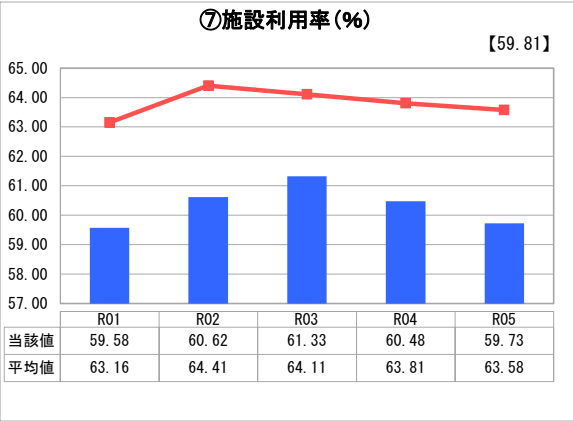
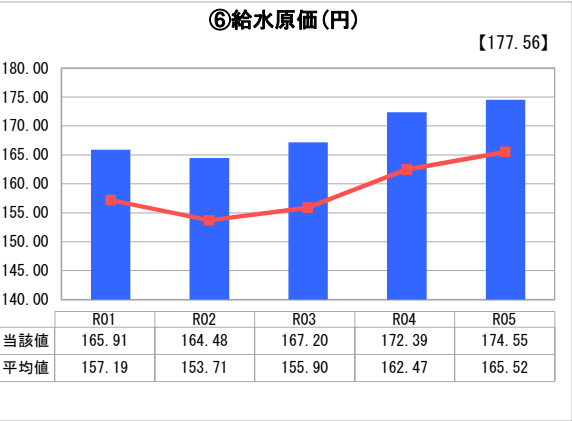
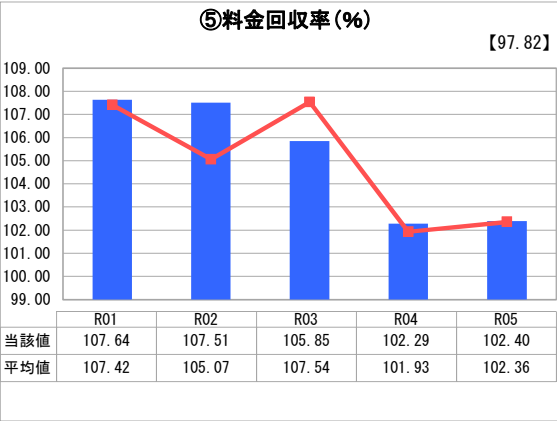
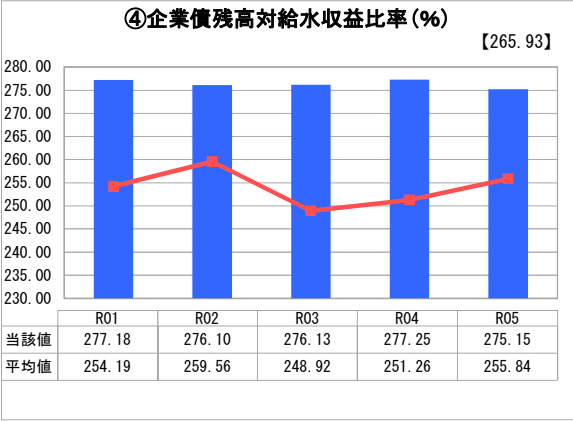
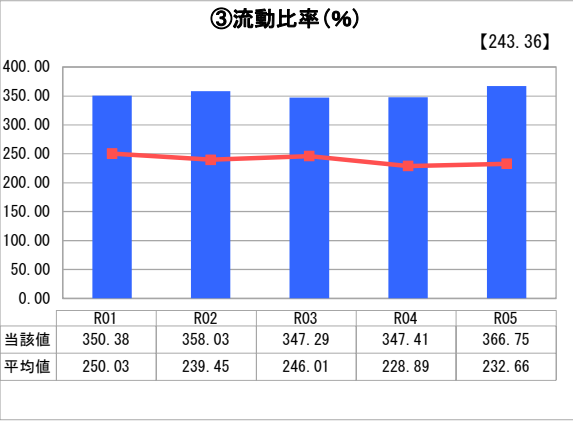
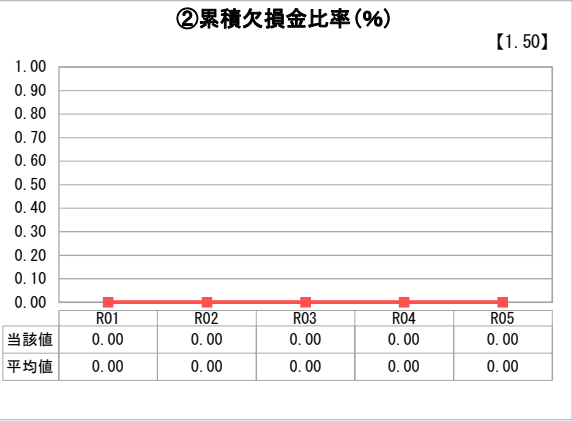
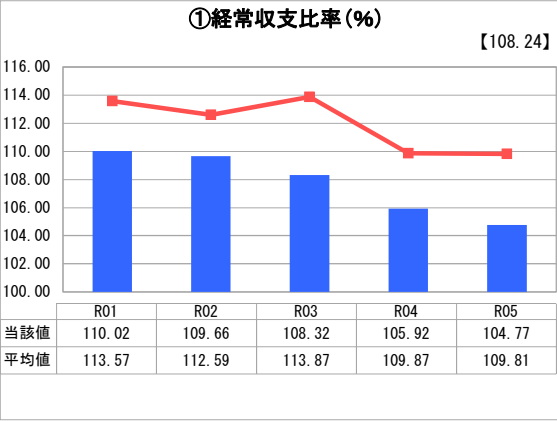
【】 令和5年度全国平均

分析欄

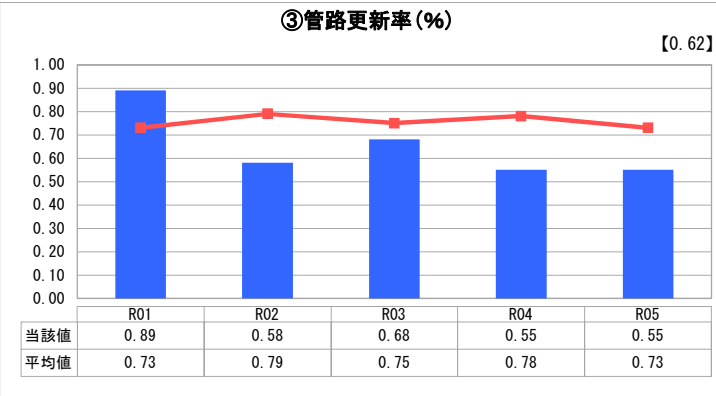
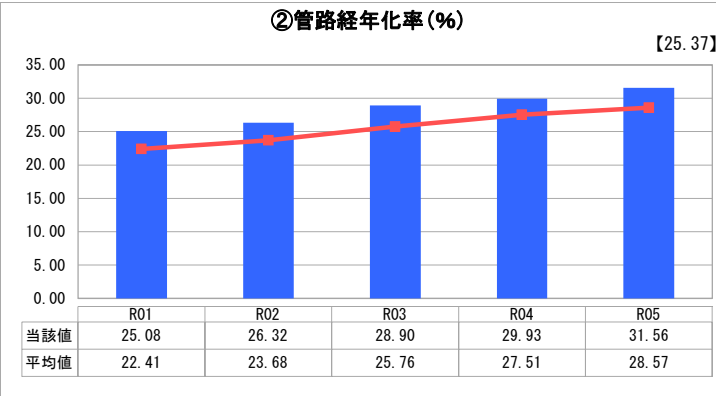
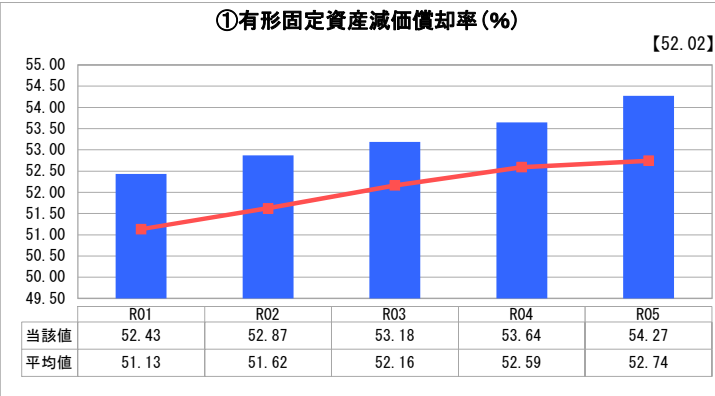
1. 経営の健全性・効率性について

①経常収支比率、⑤料金回収率はともに100%を超え、単年度収支も黒字を継続しているが、前年度に引き続き、2年連続で営業損失を計上した。
③流動比率は類似団体平均値を上回り、かつ100%を超えており、1年以内に支払う債務に対する支払能力は十分に有している。
④企業債残高対給水収益比率は類似団体平均値を上回っており、昨年と同程度である。
⑥給水原価は、全国平均値を下回っているものの、類似団体平均値より上回っており、業務の効率化、職員数の適正化、事業の民間委託などを進め、給水原価の低減に努める。
⑦施設利用率、⑧有収率はともに類似団体平均値を下回っており、今後、施設の統廃合及び更新・耐震化を進めて両指標の向上に努める。

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



2. 老朽化の状況について

①有形固定資産減価償却率、②管路経年化率は類似団体平均値を上回っており、③管路更新率は類似団体平均値を下回っている。
管路等の施設の更新事業を進めてはいるものの、法定耐用年数を経過した管路を多く保有していることから、今後も施設の統廃合、更新・耐震化事業を着実に進め、指標の向上に努める。

全体総括

令和5年度は、企業団の6か年目となる決算であり、一部の指標では全国平均を下回るものも見受けられることから、今後とも広域化のメリットを最大限に生かすために、業務の効率化・統一化・危機管理対策、施設の統廃合、更新・耐震化の施設整備などを着実に実施するとともに、各指標の推移についても留意しながら、経営の健全化・効率化に取り組む。